



一般財団法人北海道建築指導センターのマスコットキャラクター「ハウリー」は、2016年に創立50周年記念事業の一環として制作しました。

ハウリーは愛くるしいエゾリスがモチーフです。

エゾリスは英名「Hokkaido Squirrel」といい北海道でしか見ることができない野生動物、自然豊かな公園で出会えることがあります。昼行性で冬季でも冬眠せずに元気に活動しています。その生態は「道民の身近な存在」、「冬季の厳しい自然環境の克服」に取り組んできた当センターを連想させます。

記念事業終了後も当センターのPR及びイメージアップを図るキャラクターとして、広報活動や各種取り組みに活用します。

このデザインマニュアルは、キャラクター及びロゴマークの統一化を保ち、正しく使用するために、表現方法や注意事項についてまとめたものです。

●キャラクターコンセプト●

人間の世界が大好きなエゾリスの「ハウリー」は、ポシェット型のきのこの家に住むあおむしの「ビル」といつも一緒。北海道の住まいや建物に興味津々の「ハウリー」と、暮らしや建築に関する知識が豊富な「ビル」の2ひきが、「北海道の建物の魅力を伝える」、「一緒に住まいを考える」ナビゲーター・コミュニケーターとしての役割を担い、建築を通して道民の皆さまの暮らしを応援します。

ハウリー紹介

- エゾリス(女の子)
- 年齢/人間でいうところの10歳
- 住まい/人間の町がみえる桜の森
- 性格/好奇心旺盛の知りたがり。ちょっとだけ食いしん坊なところも。
- 好きなこと/人間の暮らしを覗くこと。知ること。



桜の森から見える

人間の暮らしぶりにいつも興味津々。ハウリーは、仲良しのビルとおしゃべりしながら人間の暮らしや建物について毎日たくさん理解や知識を深めています。桜の森で育ったため、体がピンク色に染まりました。

ビル紹介

- あおむし(男の子)
- 年齢/人間でいうところの15歳
- 住まい/きのこの家
- 性格/しっかり者で責任感がある。ハウリーの好奇心の強さにハラハラすることもある。将来の夢のため計画的に貯蓄している。
- 好きなこと/モデルハウス巡り



昔、人間の町に住んでいたこともあり、人間の暮らしや建物の情報に詳しい頼れるおにいさん。ステキなきのこの家に住んでいて、ハウリーにいろんなことを教えてくれます。夢はいつかきのこマンションを作ることです。

エゾリスは、私たち道民の暮らしのすぐ側に棲む身近な野生動物です。
町から少しだけ郊外に赴けば、木陰からそっと顔を覗かせて、注意深くエゾリスは現れます。
そして、私たちの一挙一動をその愛くるしい瞳でじっと見つめてきます。
その瞳に、私たちの暮らしはどのように写っているのだろう…そんな想いから
人間の世界が大好きなエゾリスの「ハウリー」とあおむしの「ビル」のストーリーが生まれました。



ほのぼのとした2ひきのおしゃべりには、北海道の住まいや建物に関するヒントや知識がたくさん隠されています。

●プロローグ●

人間の町に寄り添うように存在する、桜の森。
その森で暮らすエゾリスの「ハウリー」は、人間が大好き。とくに人間の暮らしに興味津々です。
今日も森の高台から人間の町の様子を眺めてニコニコしています。

「あの赤い屋根のおうちは可愛いなあ、
あっちのビルの工事はだいぶ進んだみたい、一体どんなビルができるのかしら？」

日々移り変わる町をみる、幸せな時間を過ごしながら
ハウリーがまきほど見つけた美味しそうなきのこを食べようとした時でした。

「わわわ〜！！や、やめておくれ！このきのこは食べないでくれ！！！」
「？？？きのこがしゃべった？！」

突然おおきな叫び声をあげたきのこ。
ではなく、中からよろり、慌てた様子の緑色のあおむしが顔を出しました。

「お嬢さん！このきのこは僕のおうちなんだ！どうか食べないでくれ！」

びっくりしたハウリー。よく見ると、きのこには小さな窓や玄関がついています。
おや？と思い、窓から中をよくよく見ると、居心地の良さそうな小さな居間が見えました。
そう。この美味しそうなきのこは実はあおむしのおうちだったのです。

「ごめんなさい。まさか、あおむしさんのおうちとは知らなくて！」

「いやいや、大丈夫さ。
ところで、ずっと横で話を聞いていたけれど、
きみは人間の暮らしや建物に興味があるんだね。
もしよかったら、ぼくにわかることなら教えてあげるよ！」

「ほんとう？ぜひ教えてほしいな！
私はハウリー！あおむしさんよろしくね！」
「僕はビル、よろしくねハウリー！！」

ひよんなことから出会った
ハウリーとビルはすぐに仲良くなりました。

今日も2ひき仲良く、人間の町を眺めながら、
いろんなおしゃべりをしています。

